

台湾史研究とアジ研図書館 -- 土地調査事業関係史料を中心に (アジ研図書館を使い倒す 第15回)

著者	新田 龍希
権利	Copyrights 日本貿易振興機構 (ジェトロ) アジア経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
雑誌名	アジ研ワールド・トレンド
巻	222
ページ	66-66
発行年	2014-03
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	http://hdl.handle.net/2344/00003517

台湾史研究とアジ研図書館——土地調査事業関係史料を中心に——

新田 龍希

台湾史研究者として、アジ研図書館の特長および同図書館所蔵台湾史関係の史料について簡単に紹介してみたい。

日本で台湾史研究をするにあたって、中国史研究における東洋文庫や東京大学東洋文化研究所のように、そこに行けば史料も先行研究もあるという、自分の拠点となるような図書館は、基本的に存在しない。そのため機会をみつけては台北の国家図書館や台湾図書館、中央研究院内の各図書館、台湾大学図書館等へ史料および先行研究の収集に出かけていく訳だが、関東一円で台湾史研究者（少なくとも私）にとつて最も利用頻度の高い図書館は交流協会日台交流センター図書館とアジ研図書館であろう。とりわけアジ研図書館は清代から現代までをカバーするその蔵書量、なかでも台湾で出版された出版物を多く収蔵する点で大変使い勝手が良い。だがアジ研図書館の何よりの魅力は、原則全面開架式としている点であろう。近年ではインターネット上のデータベースが整備され、またそれが重視される傾向にあるが、データベースの「検索」では断片的な情報しか得られない。一方で、開架書架を端から端までみて歩くことで図書館の知の全体像が（たとえ漠然としてではあれ）把握できるのである。

次に、アジ研図書館に所蔵されている台湾史関係の蔵書・史料のうち、特徴的なものを挙げ

ると、まず故戴国輝氏がアジ研在籍時代にアジ研図書館に収蔵された岡田謙文庫（岡田謙は社会人類学者、旧台北帝国大学講師、台湾先住民社会研究）、そして佐藤幸人氏が精力的に蒐集された各種統計資料、センサスなどが主要なものとして挙げられよう（岡田文庫の目録は『岡田文庫』（台湾関係）目録』『アジア経済資料月報』一二巻一〇号、一九七〇年一〇月）。

もうひとつ重要な史料として、江丙坤氏（前海峽交流基金會理事長、現国民党副主席）が寄贈した台湾土地調査事業関係の複製史料がある（以下、江丙坤史料と略）。これらはいずれも台湾省地政局北投倉庫に保管されていたものを江丙坤氏が発見し、マイクロフィルム複製を東京大学農学部図書館とアジ研図書館に寄贈したものである（江丙坤『台湾地租改正の研究』東京大学出版会、一九七四年）。

この江丙坤史料を内容により分類すると以下の三部分からなる。(1)土地調査事業終了後に編纂が企画されたが出版されなかった『台湾土地調査始末』の稿本である「台湾土地調査始末稿本」、(2)土地調査事業において土地紛争が起こった際に最終的に裁決を担当した高等土地調査委員会の文書である「高等土地調査委員会裁決書」（第一、二回）、「第二回高等土地調査委員会裁決書」、「明治三五年第一回議事録」、(3)土地調査関係の法規集成の稿本である「土地

調査法規提要」。このうち重要なものは(1)と(2)で、(1)は全五篇および附録、計四三巻に及ぶ浩瀚な史料で、台湾土地調査事業を研究する際の基本史料といえるものである。江丙坤氏自身も主にこの史料に依拠して『台湾地租改正の研究』をまとめている。また(2)は日本統治初期台湾で土地調査に際してどのような土地問題が生じたか、それに対し総督府がどのような対応を示したかが分かる貴重な史料である。日本統治開始直後の台湾総督府は、「日本」とは異なる、圧倒的に「複雑」な台湾社会に直面していた。総督府は当時土地に関する権利は民法第二

篇物権に依らず「旧慣」に依るとしたため、台湾人の土地慣習を「旧慣」として調査した。一方、土地調査（および土地調査委員会の裁決）においては画一的に地権を整理するうえで、「旧慣」を尊重しつつも地域やエスニシティにより多様に存在した「旧慣」の軽重を判断（取捨選択）する必要に迫られた。こうして裁決には「曖昧」な空間が存在し、総督府はこの空間を利用して「政治的」に問題を処理することができた。(2)の史料群からはこのような「曖昧さ」の実態が浮き彫りになる。

さて、私がこれらの史料を閲覧するにあたって、アジ研図書館のライブラリアンやスタッフの方々には大変お世話になった。このように親切な対応をしていただけるとアジ研図書館の大きな魅力である。この場を借りて図書館職員の皆様に感謝申し上げます。

（つた りゅうき／東京大学大学院総合文化研究科博士課程・日本学術振興会特別研究員DC1）